（余白は上下左右30mm程度。　以降，赤字が注意事項）

（推奨フォント・サイズは和文では明朝体・11ポイント，英文ではTimes系・11ポイント）

（各頁に行番号（1-30）と頁数（フッター中央）を入れ，１行40字×１頁30行（1,200字／頁）とする）

原稿の種別：論文　（論文，総説，短報, 解説，資料，記録などから選択する）

表題：森林立地の投稿原稿の書き方について

著者名：森林一郎1, \*,†・立地二郎2・環境三郎3

（所属は上ツキ数字で示し，現所属が異なる場合は，†，‡，¶，§の順に記号を用いる）

（連絡・別刷請求先著者に \* をつける）

所属：

1東京森林大学立地環境学部

2 国立研究開発法人森林環境研究所

3 国立研究開発法人森林環境研究所中部支所

Type of manuscript: Article

（Article, Review, Short Communication, Comment, Document, Recordなどから選択する）

Title: How to write the manuscript for Japanese Journal of Forest Environment

Authors: Ichiro Shinrin1, \*,†, Jiro Ritchi2 and Saburo Kankyo3

Affiliation:

1 Faculty of Site Environment, Tokyo University of Forest

2 Research Institute of Forest Environment

3 Chubu Research Center, Research Institute of Forest Environment

\* 連絡・別刷請求先著者(Corresponding Author)：

〒305-0031　茨城県つくば市吾妻1-13-1 フォレストコーポレーション研究開発ユニット Forest Corporation Inc., 1-13-1 Azuma, Tsukuba, Ibaraki 305-0031, Japan

E-mail: aaaaa\_envir@bbbbbb.ne.jp

† 現所属：株式会社フォレストコーポレーション

Present Address: Forest Corporation Inc.

（原稿は，表紙，要旨，本文，引用文献，図表リスト，図表の順にページを分けて作成する）

要旨（和文600字，英文250語程度まで）

森林立地に掲載されやすい原稿の条件を明らかにするため， （句点「。」と読点「，（全角カンマ）」を使う）2014年までに投稿された原稿100編（数字はすべて半角）の内容を分析した。初稿で目的が明確でない投稿原稿の30% (和文字単位，%，温度，緯度，経度，傾斜角記号の前にはスペースなし) は掲載不可であった。また，記述の整合性が不十分な原稿は3回以上の再審査が行われ投稿から受理までの平均の審査日数は150日であった。カラー印刷の有無による掲載確率に違いはなかった。　　・・・・・。　　以上の結果からすべての投稿原稿は，目的性，検証可能性，記述の整合性，図の明瞭性，倫理性が必要であることが明らかとなった。さらに「論文」「総説」では新規性，信頼性， 論理性，引用の適切性，摘要の妥当性が重要であると考えられた。

**キーワード：**受理，編集委員，審査，査読者，修正　（キーワードは5つまで）

（本文が和文の場合は英文要旨の，また，本文が英文の場合は和文要旨の文頭に，著者名と表題を付す。上記日本語（または英文）のキーワードから一行空ける。）

（本文が英文の場合で著者に日本人を含まない場合は，和文要旨を省略することができる）

**Ichiro Shinrin, Jiro Ritchi and Saburo Kankyo : How to write the manuscript for Japanese Journal of Forest Environment.（著者名と表題は太字）**

We analyzed ･･･　･･･　Finally, we concluded that･･･　･･･

**Keywords:** accept, editor, review, reviewer, revision

1.　はじめに

(段落冒頭を一字下げる)

森林立地は植生・土壌環境を総合的に考察する学術雑誌であり，これまで数多くの有用な情報が提供されてきた (Ritchi and Shinrin, 2012) (文献の引用は青字にする。英数字とカッコは半角で統一。著者2名の文献の引用は＆ではなく and を使う）。しかし，投稿原稿の中には審査課程で掲載不可と判定されたものも散見される。　　　・・・・・・・・・。　　　そこで，本研究では，・・・を目的とする。そのため，・・・を解析し，・・・関して考察した。

2.　方法 （必要に応じて2. 1, 2. 2など小節に細分してもよい。）

2. 1　解析データ (さらに細分する場合は2. 2. 1, 2. 2. 2としてもよい。）

森林立地に投稿された原稿は編集事務局に電子データとして保存されている。本研究ではそのうち，yyyy年から2014年までの投稿原稿を対象とした。収集したデータのうち欠測値がある場合や，・・・であるものは・・・のため，解析から除外した。そのため解析対象となったデータ数は xxx であった。

2. 2　解析方法

まず，解析対象データを，・・・の基準で研究目的が明確なもの，不明確なものに２区分し，受理されるまでの審査日数を算出した。各区分の掲載確率*y*を下記の式で求め，処理間で比較した (・・・検定，p<0.05)。

*y = f (x)*

ここで，*x* はOOである。

3.　結果

3.1　投稿原稿の体裁について

解析対象としたyyyy年以降の雑誌の表紙のデザインに大きな変更はなかった(図-1)。投稿された初稿の文字数の平均値(±標準偏差)は，7,000(±1,500)文字であった（数値は3桁ごとに半角カンマで区切る）。また，最初の投稿で使われていた図は平均3.5(±1.3)枚，表は4.2(±1.1)枚であった。投稿された原稿でスギ(*Cryptomeria japonica*)（学名はイタリック）を扱ったものは20%であった。・・・の値はOOO以下であった。

3.2　掲載原稿の特徴について

投稿原稿の・・・を各グループ間で比較した結果，・・・が有意に大きかった(図-2)（ハイフンは半角，英文では 「Fig. 1」, 「Table 1」）。2000年以降の掲載原稿では，・・・の割合が増加する傾向がみられた(図-2)。フィールド調査で調査枠を設定した研究の20%が調査面積1,000 m2(単位は原則SI単位。欧文文字単位記号との間には半角スペースを入れる)以上であった。また，掲載確率はスギ(*Cryptomeria japonica*)（学名はイタリック）を扱った研究群(27%)とそれ以外の研究群(26%)との間で有意な差がみられなかった。一方，カラー印刷の有無による区分けでも両者の掲載確率に差はみられなかった。

4.　考察

以上の結果から，・・・である可能性が考えられた。　　・・・。　　　　・・・であること(Miura *et al*., 2008；齊藤ら，2009)や図-2〜4（「から」は「〜」を使う）に見られる結果から，本研究では・・・と結論づけた。

（必要に応じてまとめ，謝辞などの章立てをつけてもよい）

謝辞

本研究を進めるにあたり，〇〇氏に・・・においてご助力を賜った。謹んで感謝の意を表する。本研究は，・・・により実施した。

引用文献　（本文とページを分ける）

有光一登・堀田庸(1993)森林と土壌．234pp.，夕倉書店，盛岡.

小林繁男(1993)熱帯林土壌の瘠悪化．(熱帯降雨林の土壌，真下育久編，385pp，勝美堂，東京)．280-333.

松本陽介(2002a)スギの光合成．森林立地44:2-7.

松本陽介(2002b)ヒノキの光合成．森林立地44:18-19.

Ritchi, J. and Shinrin, I. (2012) History of Japanese Journal of Forest Environment. Journal of Forest Environment 54:1-20.

Tadaki, Y., Mashimo, Y., and Jackson, D.J. (1990) *Chamaecyparis* forest production in Mt. Fuji. Japanese Journal of Forest Environment 31:12-20. (in Japanese with English summary)

Uchisiba, S. and Ishii, S. (2008) Vegetation Management. 240pp, Yuukura Press, Tokyo.

林野庁(2009)我が国の森林と森林経営の現状–モントリオール・プロセス第2回国別報告書-. http://www.montrealprocess.org/documents/publications/general/2009j\_j.pdf．(2013年12月15日閲覧)

Forestry Agency, Japan (2009) State of Japan’s Forests and Forest Management ―2ndCountry Report of Japan to the Montreal Process―. http://www.montrealprocess. org/ documents/publications/general/2009j\_e.pdf. (Retrieved 31 March 2014)

図表リスト（表リスト，図リストの順に記述）

表-1　森林立地の2011年以降の掲載論文数

【脚注】各年の掲載数は1号，2号の合計数

（表題に続ける補足説明は改行して【説明書き】【脚注】などの目印に続けて記述）

図-1．森林立地の2000年以降の発行ページ数

【説明書き】縦棒内の数字は各号のページ数を表す

（表題に続ける補足説明は改行して【説明書き】【脚注】などの目印に続けて記述）

森林一郎　表-1.

（図表原稿の右肩に筆頭著者名と図表番号を記入する）

（カラー印刷希望の場合は、右肩に「カラー印刷希望」と記入する）

（図表は1点ずつページを分けて描く）

（詳細は執筆要領や森林立地Web サイト，「表および図の原稿見本」を参照↓

(http://shinrin-ritchi.jp/wp/wp-content/uploads/2015/02/HyouZuMihon120420.pdf)

（学会誌の最新号も参照する）

表-1．森林立地の2011年以降の掲載論文数



各年の掲載数は1号，2号の合計数

（表および図本体のフォントは和文ではゴシック系，英文ではArial系）

（刷り上がり相当の大きさで描く）

（表では原則として縦の罫線は使わない）

森林一郎　図-1.

（図表原稿の右肩に筆頭著者名と図表番号を記入する）

（カラー印刷希望の場合は右肩に「カラー印刷希望」と記入する）



発行ページ数

　　　　　　　　　　 発刊年

　図-1．森林立地の2010年以降の発行ページ数

縦棒内の数字は各号のページ数を示す

（刷り上がり相当の大きさで描く）

（図および表本体のフォントは和文ではゴシック系，英文ではArial系）

（図は記号や文字が印刷後に鮮明に判別できるように太さ、大きさに留意する）

（カラー印刷を希望しない場合は原図も白黒で描く）